【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年5月17日(2022.5.17)

【公開番号】特開2022-20763(P2022-20763A)
【公開日】令和4年2月1日(2022.2.1)
【年通号数】公開公報(特許)2022-018
【出願番号】特願2021-181788(P2021-181788)
【国際特許分類】
Ｇ０７Ｇ　1/12(2006.01)
Ｇ０７Ｇ　1/01(2006.01)
Ｇ０７Ｇ　1/00(2006.01)
Ｇ０６Ｑ 20/20(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０７Ｇ　1/12　３２１Ｚ
Ｇ０７Ｇ　1/01　３０１Ｅ
Ｇ０７Ｇ　1/00　３１１Ｄ
Ｇ０６Ｑ 20/20

【手続補正書】
【提出日】令和4年5月6日(2022.5.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
お客が自ら精算操作を行う精算装置であって、
精算情報を順次取得することが可能な取得手段と、
前記取得手段が一の精算情報を取得した場合、続けて他の精算情報を取得することが可能である旨のガイダンスを表示する表示手段と、
を備えることを特徴とする精算装置。
【請求項２】
前記表示手段は、
前記取得手段が一の精算情報を取得した場合に、支払い方法を選択させる精算種別選択画面において前記ガイダンスを表示する、
ことを特徴とする請求項１に記載の精算装置。
【請求項３】
媒体から情報を読み取る読み取り手段を備え、
前記取得手段は、前記読み取り手段によって読み取られた情報に基づいて精算情報を取得し、
前記表示手段は、
前記読み取り手段によって一の媒体から情報が読み取られたことで前記精算種別選択画面を表示した後に、前記読み取り手段によって他の媒体から情報が読み取られると、当該一の媒体に基づく精算情報と当該他の媒体に基づく精算情報との合算を行うか否かの要否を選択させる選択画面を表示する、
ことを特徴とする請求項２に記載の精算装置。
【請求項４】
前記表示手段は、

前記取得手段が一の精算情報を取得した場合に、前記精算種別選択画面において当該一の精算情報に基づく支払い金額を表示し、
前記取得手段が複数の精算情報を取得し且つ前記選択画面において合算を行うことが選択された場合に、前記精算種別選択画面において当該複数の精算情報に基づく支払い金額の合計金額を表示する、
ことを特徴とする請求項３に記載の精算装置。
【請求項５】
お客が自ら精算操作を行う精算装置として動作するコンピュータに、
精算情報を順次取得することが可能な取得ステップと、
前記取得ステップにおいて一の精算情報を取得した場合、続けて他の精算情報を取得することが可能である旨のガイダンスを表示する表示ステップと、
を実行させるためのプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は上記の課題を解決するためになされたものであり、本発明の一態様は、お客が自ら精算操作を行う精算装置であって、精算情報を順次取得することが可能な取得手段と、前記取得手段が一の精算情報を取得した場合、続けて他の精算情報を取得することが可能である旨のガイダンスを表示する表示手段と、を備えることを特徴とする精算装置である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、本発明の他の態様は、上記の精算装置において、前記表示手段は、前記取得手段が一の精算情報を取得した場合に、支払い方法を選択させる精算種別選択画面において前記ガイダンスを表示する、ことを特徴とする。
また、本発明の他の態様は、前記表示手段は、前記取得手段が一の精算情報を取得した場合に、前記精算種別選択画面において当該一の精算情報に基づく支払い金額を表示し、前記取得手段が複数の精算情報を取得し且つ前記選択画面において合算を行うことが選択された場合に、前記精算種別選択画面において当該複数の精算情報に基づく支払い金額の合計金額を表示する、ことを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、本発明の他の態様は、上記の精算装置において、媒体から情報を読み取る読み取り手段を備え、前記取得手段は、前記読み取り手段によって読み取られた情報に基づいて精算情報を取得し、前記表示手段は、前記読み取り手段によって一の媒体から情報が読み取られたことで前記精算種別選択画面を表示した後に、前記読み取り手段によって他の媒体から情報が読み取られると、当該一の媒体に基づく精算情報と当該他の媒体に基づく精算情報との合算を行うか否かの要否を選択させる選択画面を表示する、ことを特徴とする。
【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、本発明の他の態様は、お客が自ら精算操作を行う精算装置として動作するコンピュータに、精算情報を順次取得することが可能な取得ステップと、前記取得ステップにおいて一の精算情報を取得した場合、続けて他の精算情報を取得することが可能である旨のガイダンスを表示する表示ステップと、を実行させるためのプログラムである。